

研究機関：広島大学

| | |
|-------------|--|
| 研究課題名 | DPCデータを用いた入院時の各因子が予後に与える影響を検討した探索的研究 |
| 研究責任者名 | 広島大学病院 総合内科・総合診療科 診療講師 宮森 大輔 |
| 研究期間 | 2021年6月8日(倫理委員会承認後)～ 2026年3月31日 |
| 対象者 | 2015年4月-2025年3月の対象期間内に広島大学病院に受診した方 |
| 意義・目的 | 県内の高次医療機関として、高度医療を提供している広島大学病院における入院した症例を探索的に解析し、広島大学病院がこれまで担ってきた医療的な役割の振り返りを行い、今後必要とされる診療や治療法など新たな価値を網羅的に探索することを目的とします。 |
| 方法 | 本研究は、大学病院における入院患者さんの入院データを倫理審査承認後に受け調査する予定です。提供を受ける情報は、性・年齢・併存症・医療費負担割合・医療費・入院時の診断名・各種検査結果・治療介入の方法・入院期間・内服薬剤です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません) |
| 共同研究機関 | 該当なし |
| 試料・情報の管理責任者 | 広島大学病院 総合内科・総合診療科 診療講師 宮森 大輔 |
| 個人情報の保護について | <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究結果は個人が特定できない形式で学術誌、学会等で発表されます。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p> |
| 問合せ・苦情等の窓口 | <p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5555 広島大学病院 総合内科・総合診療科 診療講師 宮森 大輔</p> |